

グラウンドワーク・インキュベーション

見本市

被災地で起業しました！

人を元気に、地域を豊かにする商品・サービスを提供していきます！

見て、触って、聞いて、味わってみてください！

日時：平成 25 年 2 月 11 日（月・祝） 10:00～18:00

会場：石巻グランドホテル

主催者：特定非営利活動法人グラウンドワーク三島

この見本市は、グラウンドワーク三島が内閣府「復興支援型地域社会雇用創造事業」として実施している「ふるさと東北の未来を創る『心の元気と自立』『地域の活力再生』雇用創造事業」インキュベーション事業の一環として実施されています。

グラウンドワーク・インキュベーション 見本市

NPO 法人グラウンドワーク三島は、地域資源を活用した商品やサービスの開発など、被災地の地域経済の活性化を主導・誘発する社会的企業の創業支援を行っています。東北の地域再生と復興に向けた創業者の思い、そして地域に根ざしたユニークな商品やサービスに触れてみてください。

開催日時

2013年2月11日(月・祝) 10:00-18:00

会場

石巻グランドホテル (宮城県石巻市千石町2-10)

入場料

無料



(JR 石巻駅から徒歩5分)

商品・パネル展示

被災地で起業した52名の商品紹介

- 【例】三陸の優れた水産物を素材とした新しい漁業ビジネス
- 仮設住宅入居者等を雇用した手織機による手工芸品ビジネス
- ご当地グルメ「石巻やきそば」の全国移動販売ビジネス



プログラム

- 【午前の部】起業事例(グッド・プラクティス)発表
- 【午後の部】シンポジウム「被災地における雇用の創造：NPO・社会的企業の可能性」
 - 渡辺豊博氏 グラウンドワーク三島専務理事・都留文科大学教授
 - 李東勲氏 石巻専修大学准教授
 - 岸本幸子氏 パブリックリソースセンター理事・事務局長
 - 布施龍一氏 フェアトレード東北代表理事

主催(参加申込・お問合せ)



特定非営利活動法人

グラウンドワーク三島

(月～金曜日 9:30～18:30)

TEL 055-981-5421 FAX 055-973-0022

E-mail incu@gwmishima.jp

URL <http://www.gwmishima.jp>

この見本市は、グラウンドワーク三島が、内閣府「復興支援型地域社会雇用創造事業」として実施している「ふるさと東北の未来を創る『心の元気と自立』『地域の活力再生』雇用創造事業」インキュベーション事業の一環として実施されます。

目次

ご挨拶	3
グラウンドワーク三島	4
グラウンドワーク・インキュベーションと見本市	5
プログラム	6
スピーカーの紹介	7
出展者リスト	8
各出展者のPR	11
会場配置	63

ご挨拶

グラウンドワーク三島は、静岡県三島市に本部を置く環境 NPO で、本年度、設立 20 周年を迎えました。ドブ川と化した源兵衛川の「環境再生」からスタートした活動は、「地域（経済）再生」へと発展し、また近年においては、「コミュニティ・ビジネス」や「人材育成」へと拡大しています。平成 23 年 12 月には、石巻市の新興商店街に東北事務所をオープンし、「被災地支援」を続けています。

内閣府「復興支援型地域社会雇用創造事業」の一環として実施しているグラウンドワーク・インキュベーションにおいては、被災地の地域資源を活用した地元商品の開発や中心商店街の活性化など、地域密着型の「小さな産業」や被災地で求められている「人間的なサービス」を創出することによって、被災者と被災地の「心の元気と自立」「地域の活力再生」を誘発することを目的とした社会起業家の輩出を支援しています。

ビジネスプラン・コンペティションを通して採択された起業支援対象者が、専門家によるメンタリング・サービス、起業研修、そして上限 250 万円の起業支援金の支援を受けて、起業し、社会にサービスと商品を提供する準備を進めています。起業支援対象者には、東日本大震災で被災した方も多く含まれており、社会的なサービスを提供することで、生活の立て直しを目指しています。

「見本市」では、被災地で起業した 52 名がブースを出展します。どうぞ、商品やサービスを実際に手に取り、それらに込めたさまざまな思いに耳を傾けてみてください。東北の復興は長い道のりとなりそうです。自らの足で第 1 歩を踏み出した社会起業家 52 名と共に、私たちもたゆまず歩き続けたいと思います。

特定非営利活動法人グラウンドワーク三島 理事長 小松 幸子

1. グラウンドワーク三島

「水の都」から一転、ドブ川が増えたふるさとの環境悪化に危機感をもちた市民団体は、水辺自然環境の再生と復活を目指して、平成4年9月に「グラウンドワーク三島実行委員会」を結成し、全国に先駆けて、市民・NPO・企業・行政のパートナーシップによる環境改善活動であるグラウンドワーク活動を導入しました。

これまで20年間に及び活動の最大の成果は、ドブ川化した源兵衛川の水辺再生活動であると言えるでしょう。幅広い市民の力を束ねることによって、25年間以上にわたる環境悪化から川を蘇らせ、新たな水辺環境の創造を行いました。また、環境悪化により市内から姿を消した静岡県天然記念物の水中花「三島梅花藻（ミシマバイカモ）」の再生・復活も行いました。さらに、住民参加による遊水池や手作り公園の整備、歴史的な井戸や水神さん・湧水池の再生活動、自然観察会「鎮守の森探検隊」の開催や保育園・小学校・高校での学校ビオトープの造成による環境教育活動など、三島市内を中心に50箇所以上において、市民力と地域力を結集した多様な市民活動を展開してきています。

グラウンドワーク三島が関わった地域再生の取り組みにより、三島を訪れる来街者や街歩きの観光客は、10年前の約10倍、年間30万人近くにのぼっています。このことにより、以前は、中央商店街の40%以上が空き店舗でしたが、現在では街ににぎわいが戻り、飲食店を中心に来客数が増加して、空き店舗がなくなるなど、「環境再生」が「地域（経済）再生」へと発展した事例として注目されています。

また近年、グラウンドワーク三島は、これまで十分に活用されてこなかった女性やシニアなどの地域の人的資源と、荒廃農地や里山を活用した環境コミュニティ・ビジネスに取り組み、三島そばや三島うどんの復活、地元野菜や手作り惣菜販売など、地域の食文化ビジネスを展開しています。



湧水が豊富な源兵衛川
(昭和30年代)



汚れた源兵衛川
(昭和39年～平成2年)



環境再生された源兵衛川
(地域再生のシンボル)

2. グラウンドワーク・インキュベーションと見本市

平成 24 年度、グラウンドワーク三島は、内閣府の復興支援型地域社会雇用創造事業の一環として、「グラウンドワーク・インキュベーション」に取り組んでおり、被災地において、地域資源を活用した地元密着型の「小さな産業」を創出し、人と経済の元気を主導・誘発しています。

本事業の特徴は、まず、静岡県三島市等で開催したグラウンドワーク・インターンシップにおいて、グラウンドワーク三島の先進事例を学び、自らの社会的課題を掘り下げることを通じたビジネスプランを考える研修を行うことで、幅広く社会起業家としてのマインドを誘発し、ビジネスプラン・コンペティションへの応募を促したことにあります。コンペティションにおいては、約 200 名の方よりビジネスプランのご応募がありました。グラウンドワーク三島は、書類選考と面接選考を通して採択者を選考し、52 名の方と起業支援契約を締結しました。現在、起業研修、メンタリング、そして起業支援金の供与（上限 250 万円）を通して、着実な起業と、起業後、少なくとも 5 年間は起業生存を確保できるような事業展開を支援しています。

起業支援対象者の成果発表の場として見本市を開催し、被災地発の社会的な商品やサービスを広く PR します。

3. 開催日時

平成 25 年 2 月 11 日（月・祝） 10:00～18:00

4. 会場

石巻グランドホテル（宮城県石巻市千石町 2-10）

5. 目的

- ◆ 被災地で起業した 52 名の商品やサービスを、多くの方に知っていただくこと。
- ◆ ビジネス・マッチングを促進すること。
- ◆ 被災地における NPO・社会的企業のあり方について、日頃抱えている課題や疑問点をテーマに語り合うことを通して情報交換を行い、来場者同士の親睦を深めること。

6. プログラム

ブース	
10:00～ 17:30	商品・サンプルの展示・販売、商談等

中央ステージ	
10:00～ 12:30	起業家（52名）発表 メンターの応援メッセージ
13:30	オープニング、来賓挨拶
13:45～ 14:45	基調講演1「地域資源を活用した企業のあり方」 渡辺豊博 グラウンドワーク三島専務理事
15:00～ 16:00	基調講演2「被災地における市民企業の新たな取り組み」 李東勲 石巻専修大学准教授
16:15～ 17:45	パネルディスカッション 「地域社会における雇用の創造～NPO・社会的企業の可能性」 コーディネーター 渡辺豊博グラウンドワーク三島専務理事 パネリスト 李東勲石巻専修大学准教授 布施龍一フェアトレード東北代表理事 岸本幸子パブリックリソースセンター理事
17:45～ 18:00	閉会式

※ ブースでは、起業家の商品サンプルやサービスのパンフレット等を展示・販売しております。どうぞ実際に手に取ってご覧ください。

※ 商談ブースを設けておりますので、起業家の商品開発に込めた思いを含めて、ゆっくり耳を傾けてください。

※ 是非、消費者としてのニーズをお聞かせください。

7. スピーカーの紹介



渡辺 豊博

特定非営利活動法人グラウンドワーク三島 専務理事、都留文科大学教授

東京農工大学農学部を卒業後、静岡県庁に入庁。2008年より都留文科大学社会学科教授。市民活動論や富士山学などを開講している。本業の傍ら、グラウンドワーク三島を含め、富士山に関係する4つのNPO法人を立ち上げるなど、地域づくりや水辺再生をしかける「まちづくりプロデューサー」の役割を、全国に先駆けて先導している。(農学博士)



李 東勲

石巻専修大学 経営学部准教授

専門は、マーケティング、中小企業論。まちづくりというテーマに対してマーケティングの観点からアプローチし、激変する環境の中で商店街はどのような役割を果たすべきかについて研究している。また、石巻商店街等の中小企業マーケティング支援を通して、零細小売業全体を視野に入れた活性化に取り組んでいる。(経営学博士)



布施 龍一

特定非営利活動法人フェアトレード東北 代表理事

もともとニートや障がい者などの社会的弱者を支援していたが、震災直後より、避難所暮らしに溶け込めずに孤立している高齢者などの支援活動を強化している。ニートや引きこもりの若者が生産した「ニート米」の販売に代表されるように、援助の受益者ではなく、サービスの提供者となることを支援する独自の活動を展開している。2010年人間力大賞受賞。



岸本 幸子

特定非営利活動法人パブリックリソースセンター 理事・事務局長

民間研究機関で、市民公益活動実態調査などを実施するなかで、民間非営利活動の資金基盤の拡充の必要性を痛感し、米国でノンプロフィットマネジメントを学ぶ、帰国後、パブリックリソースセンターを設立し、NPOや非営利セクターの強化・発展を図ることを通した新たな社会の仕組みづくりをめざしている。

8. 出展者リスト

ブース 番号	氏 名	ビジネスプランのタイトル	起業地
1	赤坂 智子	生きがいを求め信頼する仲間を作り手織り機を使ってライフスタイルを変えましょう	宮城県 石巻市
2	原子 雪乃	東洋医学 はり・きゅう・マッサージによる 訪問型 心と体のケア事業	宮城県 石巻市
3	勝田 勝	子どもたちのキャンプ体験 in 石巻 Children's Camping Party in Ishinomaki 石巻・島の防災学校	宮城県 石巻市
4	阿部 恵一	求職・失職者の若者や女性に、仕事に直結する「教育訓練 サポート」と「キャリア教育」	宮城県 石巻市
5	内海 謙	広告を通して被災地でがんばる企業、団体をサポート！！	宮城県 石巻市
6	佐藤 直人	石巻サッカー王国復活へ	宮城県 石巻市
7	日野 雅晴	被災地石巻にぎわい復活、社会雇用創造復興支援型事業～ 福祉農園を使った、笑顔でいきいきプロジェクト	宮城県 石巻市
8	菊田 貞吾	「復興石巻ツアー」で現況の情報発信と支援活動を縁結び する	宮城県 石巻市
9	佐藤 大知	車イスでも自由な移動を提供「外出支援サービス事業」	宮城県 石巻市
10	谷 かをる	石巻はまだまだ復興最中！自分達の今の写真を自分達で 残そう！	宮城県 石巻市
11	伊藤 由美	ママさんの安心子育て農場【マザーズファーム】	宮城県 石巻市
12	高橋 和希	見守り野菜宅配訪問事業	宮城県 石巻市
13	奈良坂 京子	被災地域とボランティアを結び交流宿泊施設事業	宮城県 石巻市
14	三浦 茂	地場産品をコンセプトとした飲食店で地元石巻を元気づ けよう！	宮城県 石巻市
15	萬代 由美子	新鮮、安全な野菜と元気の配達人！！	宮城県 石巻市
16	安藤 悦志	リサイクル復興。地産地消ならぬ地再地商を目指す。	宮城県 松島町

17	今藤 正太郎	被災高齢者のコミュニティと生きがいを形成するソーシャルファーム事業	宮城県 石巻市
18	綾部 優子	昔ながらのあの集える空間をもう一度 今はなき、心なごむおやつショップ	宮城県 石巻市
19	栗原 和子	人と人、地域と地域を結ぶ みそ汁カフェ	宮城県 仙台市
20	勝又 秀樹	地元石巻で世代を問わず集まれる場所を自分たちで作る	宮城県 石巻市
21	須田 雄介	SILK BROTHERS から学ぶ物作りの喜び教室	宮城県 石巻市
22	今野 祐馬	石巻に子供達の遊び場を作りコミュニティの再生をまず自分達からやろう！	宮城県 石巻市
23	石森 こと美	復興にたずさわり、頑張っている人の健康を守るキッチンを提供 デリバリー「ふれ・愛キッチン」	宮城県 石巻市
24	坂井 純子	被災ペットを保護・教育し、アニマルセラピーで地域に癒しと生きがいづくりで元気に。	宮城県 石巻市
25	塩田 光	体験型グリーンツーリズムと福祉的交流のマッチングによるソーシャルファーム援農と福祉的交流によるグリーンツーリズム	宮城県 石巻市
26	前園 隆宣	石巻の高齢者と大学生をつなぐ“援農プロジェクト”	宮城県 石巻市
27	濱田 龍馬	南相馬市を対象とした研究および研究者市民間交流の支援研究所 Rebirth Lab	福島県 南相馬市
28	百瀬 勝敏	福島から 新食感福光おやき 発売に挑戦	福島県 田村市
29	軽部 富美子	忘れられた被災地茨城から発信するお母さんにやさしい東北の食材	茨城県 阿見町
30	長谷部 光伸	「吉田式自然農法」を使用した被災地塩害被害支援事業	宮城県 仙台市
31	有野 真由美	筑波&石巻一心の復興とふるさと再生を自転車で支えあうクロスツーリズムプロジェクト	茨城県 つくば市
32	今井 直子	つくば三昧！デコ軽トラの移動おばんざい屋さんが、風評被害を吹っ飛ばす！！	茨城県 つくば市
33	金沢 直子	復興応援カフェ：ヘルシーコミュニティを創る！忘れられた被災地茨城と東北の被災地の出会いが宝になる！！	茨城県 龍ケ崎市
34	花嶋 美清雄	プラチナ世代の御用聞き！～気軽に頼れる町のお手伝いさん～	茨城県 利根町

35	深尾 尚子	眠れる優良産品と消費者をつなぐ ～漁業ルネッサンスを通じた地域経済の再生～	宮城県 石巻市
36	松本 国昭	被災地の田畑を“美しき田園”に復活させる循環型農業ネットワークづくり	宮城県 気仙沼市
37	佐野 大樹	被災地復興に一役担える国内ロングステイ「もう一つの我が家」	宮城県 石巻市
38	須之内 孝弘	知る事からはじめよう！石巻 気仙沼 ふれ愛ボラとりっぷ	宮城県 気仙沼市
39	藤原 朋	宮城県のご当地グルメの代名詞「石巻焼きそば」を他県で販売し、地元宮城県を元気にする！	宮城県 石巻市
40	宮澤 聖司	気仙沼大島産物オーナー制度を連携させた復興支援観光ツアー事業「大島特産物オーナープロジェクト」	宮城県 石巻市
41	斉藤 洋介	被災地における文化芸術普及と音楽教育事業：被災地における文化復興と情報発信連携事業	宮城県 気仙沼市
42	金刺 順稚	インターネットのスカイプを利用したマッチングサイト事業	宮城県 石巻市
43	山崎 義勝	甲良式「集落営農」導入で被災地の農業再生を実現	宮城県 石巻市
44	大内 順	被災地の企業を対象とした採用業務サポート事業	宮城県 仙台市
45	野地 数正	仮設住宅者向けに家事の相互サポート体制を確立し、コミュニティを再興する事業モデル	福島県 郡山市
46	塙 茂	「民芸の里」再生による地域活性化と雇用創出	茨城県 笠間市
47	堀 有伸	被災地におけるコミュニティの再生を通じて、うつ・ひきこもり・自殺を予防する	福島県 南相馬市
48	佐藤 暁	石巻地域におけるサッカーを中心としたスポーツによる子ども達の運動不足解消	宮城県 石巻市
49	花山 香織	おおさき岩出山の自然のちから、みんなの元気と笑顔が集い、醸す発酵カフェ事業	宮城県 大崎市
50	和田 りち子	出張理容で身も心もスッキリ	宮城県 石巻市
51	古藤野 智	「再生の街基金」事業	宮城県 石巻市
52	佐々木 真	地域コミュニティの拠点となる小規模デイサービスセンター	宮城県 石巻市

9. 会場配置

